

# 2022年3月期 第1四半期 決算実績 概況資料

2021年8月2日

株式会社西武ホールディングス（9024）  
<https://www.seibuholdings.co.jp/>

# I. エグゼクティブ・サマリー

P3

## II. 主な営業状況、取り組み

P7

## III. セグメント情報及び営業指標

P12

## IV. 決算実績詳細

P22

## V. 連結業績予想、足元の動向

P26

## VI. 補足資料

P29

# 2022年3月期 第1四半期 決算実績

- 緊急事態宣言が発出されるなど引き続き厳しい事業環境下にあるものの、対前年同期では増収（営業収益は38.3%増の917億円）
  - － 西武鉄道運輸収入+30.6%、プリンスホテルRevPAR+308.4%
  - － 収益認識に関する会計基準の適用により営業収益は29億円減少、損益影響は軽微
- 償却前営業利益は74億円の黒字を確保
- 営業損失は59億円、親会社株主に帰属する四半期純損失は88億円となり、前年同期から改善
- 固定費は2020/3期1Q比で90億円減少（特別損失への振替前）
- 雇用調整助成金等受入額32億円を特別利益に、臨時休業等による損失（休業期間中の固定費）30億円を特別損失に計上

	（金額単位：億円）			
	2020/3期	2021/3期	2022/3期	対前年同期
	1Q	1Q	1Q	（増減額・率）
営業収益	1,448	663	917	+ 254 + 38.3%
営業利益	215	△ 176	△ 59	+ 116 —
償却前営業利益 <sup>※</sup>	353	△ 58	74	+ 132 —
経常利益	194	△ 193	△ 77	+ 115 —
親会社株主に帰属する四半期純利益	142	△ 287	△ 88	+ 198 —

※ 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

# セグメント別営業収益

(金額単位：億円)

	2020/3期 1Q	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)	摘要(対前年同期) (+) 増加要因、(-) 減少要因
都市交通・沿線事業	430	245	313	+ 67 + 27.6%	(+) 鉄道・バスの運輸収入の増加 (+) 「トモニー」来店者数の増加 (+) 西武園ゆうえんちなど沿線レジャー施設の利用者の増加 (-) 収益認識に関する会計基準適用影響 △7億円
ホテル・レジャー事業	593	129	238	+ 109 + 84.5%	(+) 国内ホテル、ゴルフ場、横浜・八景島シーパラダイスなどの利用客の増加 (-) 海外ホテルの利用客減少(1~3月) (-) 収益認識に関する会計基準適用影響 △3億円
不動産事業	164	123	148	+ 25 + 20.8%	(+) 商業施設利用者の増加 (+) 保険の代理手数料収入の増加 (+) リゾート土地の販売件数の増加 (-) 収益認識に関する会計基準適用影響 △6億円
建設事業	248	237	223	△ 13 △ 5.6%	(-) 土木工事、建築工事の減少 (+) リノベーション工事の増加 (-) 収益認識に関する会計基準適用影響 △13億円
その他	143	48	95	+ 47 + 97.0%	(+) プロ野球公式戦の開催 (+) 伊豆箱根事業および近江事業におけるバスの利用客や観光需要の増加 (+) 横浜アリーナ、メットライフドームにおけるイベント開催の増加 (-) 収益認識に関する会計基準適用影響 △4億円
調整額	△ 131	△ 120	△ 103	+ 17 -	
連結数値	1,448	663	917	+ 254 + 38.3%	

(注) 2021/3期より報告セグメントを変更しております。2020/3期1Qの数値は変更後の区分により記載しております。

# セグメント別営業利益・償却前営業利益

## ■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2020/3期 1Q	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要(対前年同期) (+) 増加要因、(-) 減少要因
都市交通・沿線事業	83	△ 53	△ 6	+ 46	-	(+) 営業収益の増加 (-) 広告宣伝費、一般管理費の増加 (-) 特別損失に計上した固定費(前期)9億円
ホテル・レジャー事業	37	△ 143	△ 117	+ 26	-	(+) 営業収益の増加 (+) 人件費の減少 (-) 水道光熱費の増加 (-) 特別損失に計上した固定費(前期)84億円 (+) 特別損失に計上した固定費(当期)29億円
不動産事業	54	32	55	+ 23	+ 70.8%	(+) 営業収益の増加
建設事業	11	9	8	△ 1	△ 17.0%	(-) 建設業の間接工事部門費、間接工事原価の増加 (+) 建設業の粗利益率の向上
その他	23	△ 23	△ 1	+ 22	-	(+) 営業収益の増加 (-) 特別損失に計上した固定費(前期)12億円
調整額	5	1	1	+ 0	+ 27.9%	
連結数値	215	△ 176	△ 59	+ 116	-	

## ■ 償却前営業利益

(金額単位：億円)

	2020/3期 1Q	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)	
都市交通・沿線事業	134	△ 0	47	+ 47	-
ホテル・レジャー事業	86	△ 111	△ 77	+ 33	-
不動産事業	84	62	85	+ 23	+ 38.1%
建設事業	12	10	9	△ 1	△ 15.7%
その他	32	△ 15	9	+ 24	-
調整額	4	△ 3	0	+ 4	-
連結数値	353	△ 58	74	+ 132	-

## ■ 特別損失に計上した固定費

(金額単位：億円)

	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	摘要
都市交通・沿線事業	9	0	・ 営業休止中の沿線レジャー施設に係る人件費、減価償却費等
ホテル・レジャー事業	84	29	・ 営業休止中のホテルやゴルフ場、レジャー施設に係る人件費、減価償却費等 ※ゴルフ場は2021/3期1Qのみ
不動産事業	0	-	
建設事業	-	-	
その他	12	-	【2021/3期 1Q】 ・ プロ野球公式戦主催試合数の減少に伴い 参稼報酬の一部を特別損失に計上 ・ 伊豆箱根事業における人件費等
調整額	△ 0	△ 0	
合計	107	30	

(注) 2021/3期より報告セグメントを変更しております。  
2020/3期1Qの数値は変更後の区分により記載しております。

I. エグゼクティブ・サマリー	P3
<b>II. 主な営業状況、取り組み</b>	<b>P7</b>
III. セグメント情報及び営業指標	P12
IV. 決算実績詳細	P22
V. 連結業績予想、足元の動向	P26
VI. 補足資料	P29

# 主な営業状況

2021/3期 1Q

2022/3期 1Q

都市交通・沿線事業

**【沿線生活サービス業・スポーツ業】**

- ・東京都、埼玉県に所在する遊園地、温泉施設、フィットネスクラブにおいて営業を休止（5月末～6月中旬にかけて順次営業再開）
- ・駅ナカコンビニ「トモニ」において時短営業を実施（5/19以降、順次通常営業を再開）

**【沿線生活サービス業・スポーツ業】**

- ・東京都に所在する温泉施設やフィットネスクラブを休業（4/25～5/31）
- ・5月19日に西武園ゆうえんちをリニューアルオープン、滞留人員を制限し営業

ホテル・レジャー事業

**【ホテル業】**

- ・4月下旬よりシティ5ホテルを除き営業休止（6月より需要動向に合わせ、一部営業再開）

**【ホテル業】**

- ・需要動向等を踏まえ、5月中旬以降、北海道や広島県などに所在する5つのホテルで一時営業を休止したほか、営業集約を実施

**【海外ホテル業】**

- ・3月28日以降、ハワイ3ホテル・3ゴルフ場において営業休止（ゴルフ場は5/4以降、順次営業再開）
- ・3月末時点で、ステイウェル全28ホテルのうち12ホテルにおいて営業休止

**【海外ホテル業】**

- ・ハワイ3ホテル、3ゴルフ場は営業継続
- ・The Prince Akatoki Londonなど7ホテルにおいて営業休止（The Prince Akatoki Londonは5/17営業再開）

**【スポーツ業】**

- ・4月18日以降、全28ゴルフ場において順次営業休止（6/1以降、順次営業再開）

**【スポーツ業】**

- ・全28ゴルフ場において営業継続（冬期休業を除く）

**【その他】**

- ・横浜・八景島シーパラダイス、マクセル アクアパーク品川において営業を休止（5/31まで）

**【その他】**

- ・マクセル アクアパーク品川において営業を休止（4/25～5/31）

不動産事業

**【不動産賃貸業】**

- ・東京都、神奈川県、埼玉県、長野県に所在する商業施設において、営業を休止または営業時間を短縮（4月上旬～5月末）

**【不動産賃貸業】**

- ・東京都に所在する一部の商業施設において営業を休止（4/25～5/14）したほか、営業時間を短縮

その他

**【西武ライオンズ】**

- ・2020年シーズンの開幕延期（6/19から無観客試合により公式戦を開催）

**【西武ライオンズ】**

- ・政府や自治体の方針に従い、入場者数を制限して試合を開催

# 中期経営計画における取り組みの進捗状況（経営改革）

2022/3期 1Q

2022/3期 2Q以降

## ■アセットライトな事業運営

- 2021年5月13日に西武建材株式会社の全株式を譲渡することを決定、7月1日に株式を譲渡
  - 新横浜西武ビルの売却
  - 新横浜スクエアビル、芝公園2丁目ビルの流動化
  - 2021年内に流動化する資産の選定を完了し発表予定
  - グループの保有資産の価値極大化およびホテル・レジャー事業と不動産事業の競争力向上を目的としたグループ内組織再編を実施（2022年4月予定）

## ■損益分岐点の引き下げ

- 1Qの固定費は90億円減少（対2020/3期1Q、特別損失への振替前）
  - ✓ うち、ホテル・レジャー事業で76億円減少（人件費、販管費、水道光熱費等）
  - 事業環境の変化や業績の進捗・見通しに応じたコスト削減の実施

## ■ニューノーマルに合わせたサービス変革

- 2021年4月27日  
軽井沢エリアにおけるワーケーション滞在拠点として軽井沢プリンスホテル ウェストをリニューアルオープン
- 2021年5月19日  
心あたたまる幸福感に包まれる、新しい「西武園 ゆうえんち」ランドオープン
- プリンスホテルが“新たな旅行スタイルの提案”をテーマに日本航空株式会社と協業を開始
- 株式会社アルムと連携し、駅ナカ・コンビニ「トモニー」54店舗で、PCR検査キットの試験販売を開始
- 2021年7月1日  
西武鉄道池袋駅西武南口にPCR検査専門のクリニック「チームメディカルクリニック 池袋」を開院
- 2021年7月15日  
プリンスホテルにおいて、すべての宿泊客を対象としたPCR検査のオプションサービスを開始
- 2021年7月29日  
野村不動産株式会社、東日本旅客鉄道株式会社との共同プロジェクトとして、軽井沢にワーケーション拠点「Karuizawa Prince The Workation Core」を開業

# 中期経営計画における取り組みの進捗状況（デジタル経営、サステナビリティ）

2022/3期 1Q

2022/3期 2Q以降

## ■ デジタル経営

- 2021年4月1日  
西武ホールディングス、西武鉄道、プリンスホテルの情報システム部門を統合
- グループDX推進体制構築、DXテーマ・案件候補選定開始
- 2021年7月7日  
法人向け宴会場オンライン予約サービスを導入
- 駅ナカ・コンビニ「トモニー」で無人決済システムを導入予定
- グループマーケティング基盤  
2022年3月期 初期構築を完了し、複数データを組み合わせた分析・プロモーションなどの利活用を開始
- RPAやAIなど技術活用
  - ✓ 2022年3月期より順次RPA基盤のグループ内利用促進
- 管理系基幹システムグループ共通システム化
  - ✓ 2023年3月期 会計システム更新

## ■ サステナビリティ

- 都内8ホテルで実施している「共同配送システムの構築」の取り組みがCO2排出量の削減につながっていること等が評価され、日本ホテル協会「社会的貢献表彰」優秀賞を受賞
- 2021年5月13日  
TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言に賛同、現在の対応状況を開示  
TCFDコンソーシアムにも合わせて参加
- 2021年6月16日  
第5回無担保社債（グリーンボンド）発行
  - ✓ 新型省エネ車両の導入に要した借入金の返済資金に充当
- 2021年7月  
西武グループ初となるソーラーシェアリングを開始（所沢北岩岡太陽光発電所 989.04kW）
  - ✓ 西武アグリが太陽光発電システムの下でブルーベリーやぶどうを栽培し、所沢市に電力を供給
- 「SOMPO サステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に3年連続で選定
- 「MSCI ジャパンESG セレクト・リーダーズ指数」に初めて選定

# 主なプロジェクト

2022年3月期

2023年3月期

2024年3月期以降

都市交通・沿線

- ◆ 2021年5月19日開業  
西武園ゆうえんちリニューアル



- ◆ 2023年前半開業予定  
ワーナー ブラザース スタジオツアー東京  
- メイキング・オブ・ハリー・ポッター  
(運営会社：ワーナー ブラザース ジャパン)



## 新宿線連続立体交差事業の推進

ホテル・レジヤール

- ◆ 2021年4月27日開業  
軽井沢PHウエスト 新客室棟・温泉棟

- ◆ 2022年春開業予定  
「プリンスホテル」ブランド  
(沖縄・宜野湾市)



## プリンス スマート インの展開

- ◆ 2021年5月31日開業  
「プリンス スマート イン 京都四条大宮」
- ◆ 2021年4月21日開業  
「プリンス スマート イン 熱海」

- ◆ 2022年秋頃開業予定  
「プリンス スマート イン 博多」

- ◆ 2022年春頃開業予定  
「プリンス スマート イン」  
(京都・中京区)
- ◆ 2022年開業予定  
「プリンス スマート イン」  
(沖縄・那覇市)



## StayWell社のグローバル展開

- ◆ 2021年秋以降開業予定  
「The Prince Akatoki」 (中国・広州)
- ◆ 2022年3月期冬以降開業予定  
「The Prince Akatoki Riverside Bangkok」 (タイ・バンコク)

不動産



- ◆ 2021年7月27日  
エミオひばりヶ丘  
スケールアップオープン



- ◆ 2021年7月29日  
軽井沢・プリンスショッピングプラザ内「Karuzawa Prince The Workation Core」開業

- ◆ 2024年3月期竣工予定  
所沢駅西口開発計画

## 高輪・品川エリア、芝公園エリア等の大規模再開発計画の推進

I. エグゼクティブ・サマリー	P3
II. 主な営業状況、取り組み	P7
<b>III. セグメント情報及び営業指標</b>	<b>P12</b>
IV. 決算実績詳細	P22
V. 連結業績予想、足元の動向	P26
VI. 補足資料	P29

# 都市交通・沿線事業 概況

(金額単位：百万円)

	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	24,575	31,357	+6,781	+27.6%	
鉄道業	15,779	20,452	+4,672	+29.6%	(+) 鉄道運輸収入の増加
バス業	3,930	4,945	+1,014	+25.8%	(+) バス運輸収入の増加
沿線生活サービス業	3,852	4,614	+761	+19.8%	(+) 「トモニー」来店者数の増加 (+) 西武園ゆうえんちなど沿線レジャー施設の利用者の増加 (-) 収益認識会計基準適用による影響 △7億円
スポーツ業	339	606	+267	+78.8%	(+) BIGBOX高田馬場、BIGBOX東大和などの利用者の増加
その他	673	739	+65	+9.7%	
営業利益	△ 5,313	△ 678	+4,634	-	(+) 営業収益の増加 (-) 広告宣伝費、一般管理費の増加
償却前営業利益	△ 84	4,707	+4,791	-	(-) 特別損失に計上した固定費（前期）9億円

## 西武鉄道 鉄道事業部門費用 (金額単位：百万円)

	2022/3期 1Q	対前年同期 増減額
人件費	6,737	△ 4
修繕費	1,205	+159
動力費	1,178	△ 162
減価償却費	4,218	+41
固定資産除却費	105	+63

# 都市交通・沿線事業 鉄道業の運輸成績

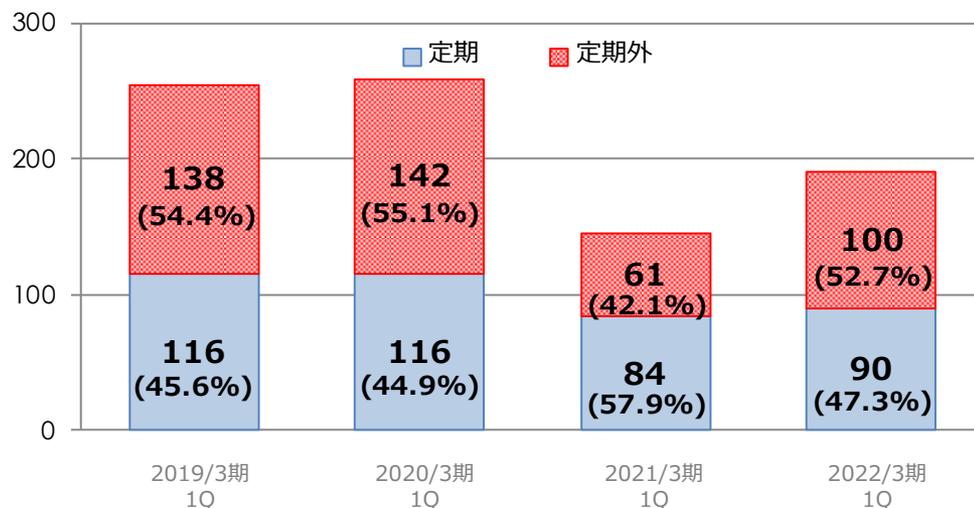
## 輸送人員・旅客運輸収入（西武鉄道株式会社）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

		2019/3期	2020/3期	対前年同期	2021/3期	対前年同期	2022/3期	対前年同期
		1Q	1Q	増減率	1Q	増減率	1Q	増減率
輸送人員	定期	108,022	107,936	△ 0.1%	70,766	△ 34.4%	80,457	+ 13.7%
	定期外	62,573	63,851	+2.0%	29,214	△ 54.2%	46,533	+ 59.3%
	計	170,596	171,787	+0.7%	99,981	△ 41.8%	126,991	+ 27.0%
旅客運輸 収入	定期	11,643	11,617	△ 0.2%	8,444	△ 27.3%	9,008	+ 6.7%
	定期外	13,888	14,267	+2.7%	6,144	△ 56.9%	10,040	+ 63.4%
	計	25,532	25,885	+1.4%	14,589	△ 43.6%	19,049	+ 30.6%

### 旅客運輸収入の推移 ※（ ）内は構成比

（単位：億円）



# ホテル・レジャー事業 概況

(金額単位：百万円)

	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)		概要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	12,951	23,891	+10,939	+84.5%	
ホテル業 (シティ)	4,181	9,181	+5,000	+119.6%	(+) ホテル利用客の増加
ホテル業 (リゾート)	479	3,943	+3,463	+721.9%	(-) 収益認識会計基準適用による影響 △1億円
海外ホテル業 <sup>※</sup>	5,693	3,863	△ 1,829	△ 32.1%	(-) ホテル利用客の減少
スポーツ業	1,210	3,551	+2,340	+193.4%	(+) ゴルフ場利用客の増加
その他	1,386	3,351	+1,964	+141.7%	(+) 横浜・八景島シーパラダイスの利用客の増加 (+) Xpark (台湾・桃園市) の新規開業 (前期3Q)
営業利益	△ 14,324	△ 11,713	+2,610	-	(+) 営業収益の増加 (+) 人件費の減少 (-) 水道光熱費の増加
償却前営業利益	△ 11,158	△ 7,763	+3,394	-	(-) 特別損失に計上した固定費 (前期) 84億円 (+) 特別損失に計上した固定費 (当期) 29億円

※ 海外ホテル業の第1四半期会計期間は主として1月～3月

# ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

## ホテル業の営業指標（株式会社プリンスホテル）

(RevPAR・平均販売室料：円)

		2019/3期	2020/3期	対前年同期	2021/3期	対前年同期	2022/3期	対前年同期
		1Q	1Q	増減率	1Q	増減率	1Q	増減率
RevPAR	シティ	13,567	14,336	+5.7%	794	△ 94.5%	2,287	+187.8%
	高輪・品川エリア	13,805	14,296	+3.6%	706	△ 95.1%	1,719	+143.6%
	リゾート	7,646	8,582	+12.2%	341	△ 96.0%	3,580	+949.7%
	軽井沢エリア	13,713	16,297	+18.8%	1,081	△ 93.4%	8,137	+652.8%
	宿泊部門全体	11,685	12,500	+7.0%	654	△ 94.8%	2,670	+308.4%
平均販売室料	シティ	15,775	16,285	+3.2%	15,414	△ 5.3%	11,858	△ 23.1%
	高輪・品川エリア	15,393	15,968	+3.7%	13,075	△ 18.1%	11,043	△ 15.5%
	リゾート	13,534	14,526	+7.3%	13,983	△ 3.7%	15,456	+10.5%
	軽井沢エリア	22,412	24,993	+11.5%	17,924	△ 28.3%	22,711	+26.7%
	宿泊部門全体	15,250	15,864	+4.0%	15,163	△ 4.4%	13,069	△ 13.8%
客室稼働率	シティ	86.0%	88.0%	+2.0pt	5.2%	△ 82.9pt	19.3%	+14.1pt
	高輪・品川エリア	89.7%	89.5%	△ 0.2pt	5.4%	△ 84.1pt	15.6%	+10.2pt
	リゾート	56.5%	59.1%	+2.6pt	2.4%	△ 56.6pt	23.2%	+20.7pt
	軽井沢エリア	61.2%	65.2%	+4.0pt	6.0%	△ 59.2pt	35.8%	+29.8pt
	宿泊部門全体	76.6%	78.8%	+2.2pt	4.3%	△ 74.5pt	20.4%	+16.1pt

(注) 各区分に含まれるホテル名称を29ページに記載しております。

# ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

## 海外ホテル業の営業指標 ※ 1Qは1月～3月の実績

### ■ ハワイ

	2019/3期 1Q	2020/3期 1Q	対前年同期 増減率	2021/3期 1Q	対前年同期 増減率	2022/3期 1Q	対前年同期 増減率
RevPAR (円)	28,643	31,528	+ 10.1%	27,515	△ 12.7%	16,745	△ 39.1%
RevPAR (米ドル)	249.07	274.15	+ 10.1%	259.57	△ 5.3%	155.04	△ 40.3%
平均販売室料 (円)	38,849	40,802	+ 5.0%	38,053	△ 6.7%	34,300	△ 9.9%
平均販売室料 (米ドル)	337.82	354.80	+ 5.0%	358.99	+ 1.2%	317.60	△ 11.5%
客室稼働率	73.7%	77.3%	+ 3.6pt	72.3%	△ 5.0pt	48.8%	△ 23.5pt

### ■ The Prince Akatoki London

	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期 増減率
RevPAR (円)	18,019	0	△ 100.0%
RevPAR (英ポンド)	133.49	0.00	△ 100.0%
平均販売室料 (円)	30,034	0	△ 100.0%
平均販売室料 (英ポンド)	222.50	0.00	△ 100.0%
客室稼働率	60.0%	0.0%	△ 60.0pt

(注) 2022/3期1Qは営業休止

# ホテル・レジャー事業 インバウンドの状況（宿泊客数・室料収入）

（人員単位：人、金額単位：百万円）

		2019/3期	2020/3期	対前年同期	2021/3期	対前年同期	2022/3期	対前年同期
		1Q	1Q	増減率	1Q	増減率	1Q	増減率
宿泊客数	邦人客	849,904	879,138	+ 3.4%	64,774	△ 92.6%	365,706	+ 464.6%
	外国人客	350,001	345,353	△ 1.3%	375	△ 99.9%	663	+ 76.8%
	計	1,199,905	1,224,491	+ 2.0%	65,149	△ 94.7%	366,369	+ 462.4%
	外国人客比率	29.2%	28.2%	△ 1.0pt	0.6%	△ 27.6pt	0.2%	△ 0.4pt
室料収入	外国人客	6,562	6,807	+ 3.7%	53	△ 99.2%	26	△ 50.7%
	外国人客比率	39.7%	38.8%	△ 0.9pt	5.8%	△ 33.0pt	0.7%	△ 5.1pt

## 外国人宿泊客数および室料収入の構成比

		外国人宿泊客数		外国人客 室料収入	
		2021/3期	2022/3期	2021/3期	2022/3期
		1Q	1Q	1Q	1Q
構成比	中国	15.2%	6.5%	8.0%	2.9%
	台湾	1.3%	0.5%	0.6%	1.6%
	韓国	3.7%	1.7%	1.0%	0.5%
	香港	0.3%	1.2%	1.4%	15.4%
	タイ	4.8%	2.4%	0.6%	1.2%
	その他アジア	10.9%	8.3%	10.0%	5.3%
	北米・欧州	43.7%	51.4%	45.8%	54.7%
	その他	20.0%	28.1%	32.6%	18.4%

# 不動産事業 概況

(金額単位：百万円)

	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	12,317	14,885	+2,567	+20.8%	
不動産賃貸業	10,386	11,674	+1,287	+12.4%	(+) 商業施設利用者の増加 (-) 収益認識会計基準適用による影響 △6億円
その他	1,931	3,211	+1,279	+66.3%	(+) 保険の代理手数料収入の増加 (+) リゾート土地の販売件数の増加
営業利益	3,269	5,583	+2,313	+70.8%	(+) 営業収益の増加
償却前営業利益	6,216	8,585	+2,369	+38.1%	

(面積：千㎡)

		2019/3期 1Q	2020/3期 1Q	対前年同期	2021/3期 1Q	対前年同期	2022/3期 1Q	対前年同期
建物賃貸物件	商業施設	243	244	+ 1	246	+ 1	246	+ 0
の期末貸付面積	オフィス・住宅	173	201	+ 27	206	+ 4	204	△ 1
建物賃貸物件	商業施設	1.3%	1.6%	+ 0.3pt	1.4%	△ 0.2pt	2.9%	+ 1.4pt
の期末空室率	オフィス・住宅	1.1%	3.9%	+ 2.8pt	3.0%	△ 0.9pt	3.8%	+ 0.8pt

(注) 土地の賃貸は含んでおりません。

# 建設事業 概況

(金額単位：百万円)

	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)		概要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	23,732	22,399	△ 1,332	△ 5.6%	
建設業	17,406	17,353	△ 53	△ 0.3%	(-) 土木工事、建築工事の減少 (+) リノベーション工事の増加 (+) 収益認識会計基準適用による影響 +4億円
その他	6,325	5,046	△ 1,279	△ 20.2%	(-) 収益認識会計基準適用による影響 △17億円
営業利益	973	808	△ 165	△ 17.0%	(-) 建設業の間接工事部門費、間接工事原価の増加 (+) 建設業の粗利益率の向上
償却前営業利益	1,086	916	△ 170	△ 15.7%	

## 建設業の受注高の状況

(金額単位：百万円)

	2019/3期 1Q	2020/3期 1Q	対前年同期	2021/3期 1Q	対前年同期	2022/3期 1Q	対前年同期
期首繰越高	100,542	88,975	△ 11,567	77,871	△ 11,103	68,454	△ 9,416
期中受注高	17,655	13,476	△ 4,179	6,058	△ 7,418	8,879	+ 2,821
期末繰越高	104,580	84,193	△ 20,386	66,598	△ 17,594	59,854	△ 6,744

# その他 概況、スポーツ関連

## ■ その他

(金額単位：百万円)

	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要 (+) 増加要因、(-) 減少要因
営業収益	4,862	9,577	+4,715	+97.0%	(+) プロ野球公式戦の開催 (+) 伊豆箱根事業および近江事業におけるバスの利用客や観光需要の増加 (+) 横浜アリーナ、メットライフドームにおけるイベント開催の増加 (-) 収益認識に関する会計基準適用影響 △4億円
営業利益	△ 2,382	△ 127	+2,254	-	(+) 営業収益の増加
償却前営業利益	△ 1,573	923	+2,496	-	(-) 特別損失に計上した固定費(前期) 12億円

## ■ スポーツ関連の営業収益 ※

(金額単位：百万円)

	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	3,561	9,779	+6,218	+174.6%	都市交通・沿線事業(スポーツ業) 前年同期比 +2億円 ホテル・レジャー事業(スポーツ業) 前年同期比 +23億円 その他(スポーツ事業) 前年同期比 +36億円

※ 都市交通・沿線事業およびホテル・レジャー事業におけるスポーツ業、ならびにその他に含まれるスポーツ事業の営業収益の合計

I. エグゼクティブ・サマリー	P3
II. 主な営業状況、取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P12
<b>IV. 決算実績詳細</b>	<b>P22</b>
V. 連結業績予想、足元の動向	P26
VI. 補足資料	P29

# 連結損益計算書サマリー

(金額単位：百万円)

	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期	摘要
営業収益	66,341	91,763	+25,421	都市交通・沿線：+67億円、ホテル・レジャー：+109億円、 不動産：+25億円、建設：△13億円、その他：+47億円、 調整額：+17億円
営業利益	△ 17,673	△ 5,995	+11,677	都市交通・沿線：+46億円、ホテル・レジャー：+26億円、 不動産：+23億円、建設：△1億円、その他：+22億円、 調整額：+0億円
営業外収益	1,038	1,197	+159	
営業外費用	2,671	2,970	+298	
経常利益	△ 19,306	△ 7,768	+11,538	
特別利益	1,758	3,778	+2,019	当期：雇用調整助成金等受入額 32億円
特別損失	14,692	3,761	△ 10,931	当期：臨時休業等による損失 30億円 前期：臨時休業等による損失 107億円、減損損失 24億円
税金等調整前四半期純利益	△ 32,240	△ 7,751	+24,489	
法人税等	△ 2,848	636	+3,485	法人税、住民税及び事業税 +8億円、法人税等調整額 +26億円
四半期純利益	△ 29,392	△ 8,388	+21,004	
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 650	483	+1,134	
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 28,741	△ 8,871	+19,869	

# 営業外・特別損益

(金額単位：百万円)

	2021/3期 1Q	2022/3期 1Q	対前年同期	摘要
営業利益	△ 17,673	△ 5,995	+11,677	
営業外収益	1,038	1,197	+159	
受取利息・配当金	452	425	△ 27	
バス路線運行維持費補助金	125	127	+2	
持分法による投資利益	—	3	+3	
感染拡大防止協力金受入額	—	258	+258	
その他営業外収益	459	382	△ 77	
営業外費用	2,671	2,970	+298	
支払利息	2,499	2,326	△ 173	
持分法による投資損失	73	—	△ 73	
その他営業外費用	98	644	+545	
経常利益	△ 19,306	△ 7,768	+11,538	
特別利益	1,758	3,778	+2,019	
固定資産売却益	24	39	+14	
工事負担金等受入額	1,347	44	△ 1,302	
補助金収入	44	7	△ 37	
雇用調整助成金等受入額	187	3,271	+3,084	
その他特別利益	153	415	+261	
特別損失	14,692	3,761	△ 10,931	
減損損失	2,499	123	△ 2,375	前期：主にとしまえんの閉園決定に伴う減損損失
固定資産売却損	—	0	+0	
固定資産除却損	168	223	+54	
工事負担金等圧縮額	1,187	44	△ 1,143	
固定資産圧縮損	32	6	△ 26	
投資有価証券評価損	77	18	△ 58	
臨時休業等による損失	10,725	3,009	△ 7,716	5ページの「特別損失に計上した固定費」を参照
その他特別損失	—	335	+335	
税金等調整前当期純利益	△ 32,240	△ 7,751	+24,489	

# 連結貸借対照表サマリー

(金額単位：百万円)

	2021/3期 期末	2022/3期 1Q末	対前期	摘要
資産 合計	1,698,497	1,696,402	△ 2,095	
流動資産	124,086	119,936	△ 4,149	受取手形及び売掛金※ △58,193 その他 △10,123 (未収還付消費税の減少など) 受取手形、売掛金及び契約資産※ +48,793 現金及び預金 +16,184
固定資産	1,574,410	1,576,465	+2,054	有形・無形固定資産 +555 投資その他の資産 その他 +1,697
負債 合計	1,312,809	1,316,947	+4,137	
流動負債	378,883	384,066	+5,182	前受金 +17,142 短期借入金 +8,426 賞与引当金 +4,582 支払手形及び買掛金 △3,691 未払法人税等 △1,533 その他 △19,856 (工事未払金の減少など)
固定負債	933,926	932,880	△ 1,045	長期借入金 △11,449 社債 +10,000
純資産 合計	385,687	379,455	△ 6,232	
自己資本	299,742	293,787	△ 5,954	利益剰余金 △9,797 (親会社株主に帰属する四半期純損失 △8,871、収益認識に関する会計基準の適用による累積的影響額 △925) 為替換算調整勘定 +4,458
非支配株主持分	85,538	85,368	△ 169	
有利子負債 期末残高	937,156	944,497	+7,340	
ネット有利子負債	908,340	899,496	△ 8,844	
自己資本比率	17.6%	17.3%	△ 0.3pt	
D/Eレシオ (倍)	3.1	3.2	+0.1	

※ 収益認識に関する会計基準を適用したため、前期の連結貸借対照表において「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしております。

I. エグゼクティブ・サマリー	P3
II. 主な営業状況、取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P12
IV. 決算実績詳細	P22
<b>V. 連結業績予想、足元の動向</b>	<b>P26</b>
VI. 補足資料	P29

# 2022年3月期 連結業績予想（5月13日公表予想から変更なし）

## ■ 2022年3月期 第2四半期（累計）予想

（金額単位：億円）

	連結	都市交通・沿線事業	ホテル・レジャー事業	不動産事業	建設事業	その他	調整額	
	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期
営業収益	2,200 + 42.0%	702 + 19.6%	780 + 129.3%	305 + 13.8%	421 △ 9.1%	202 + 56.0%	△ 210	-
営業利益	30 -	14 -	△ 91 -	109 + 45.5%	11 △ 39.2%	△ 7 -	△ 6	-
償却前営業利益	320 -	124 + 146.1%	0 -	169 + 26.0%	13 △ 36.4%	13 -	1	-
経常利益	△ 10 -							
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 80 -							

## ■ 2022年3月期 通期予想

（金額単位：億円）

	連結	都市交通・沿線事業	ホテル・レジャー事業	不動産事業	建設事業	その他	調整額	
	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期
営業収益	4,560 + 35.3%	1,428 + 16.5%	1,769 + 110.5%	558 + 0.7%	890 △ 7.4%	334 + 24.8%	△ 419	-
営業利益	90 -	0 -	△ 40 -	159 + 3.1%	33 △ 18.7%	△ 47 -	△ 15	-
償却前営業利益	670 -	231 + 86.4%	141 -	277 + 0.9%	37 △ 18.7%	△ 5 -	△ 11	-
経常利益	0 -							
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 50 -							

# 鉄道業およびホテル業の足元の動向

## ■鉄道業

### 改札通過人員（前年同月比）

	2021年			
	4月	5月	6月	7月1日～21日
定期	+66.7%	+78.4%	+16.1%	+2%
(前々年比)	(△ 21.7%)	(△ 36.4%)	(△ 29.2%)	(△ 26%)
定期外	+129.4%	+71.5%	+11.9%	+14%
(前々年比)	(△ 23.3%)	(△ 31.3%)	(△ 22.8%)	(△ 21%)
計	+91.2%	+75.2%	+14.2%	+7%
(前々年比)	(△ 22.5%)	(△ 34.1%)	(△ 26.5%)	(△ 24%)

## ■ホテル業

### 営業指標（前年同月比）

	2021年		
	4月	5月	6月
RevPAR	+274.7%	+668.2%	+186.1%
(前々年比)	(△ 80.1%)	(△ 78.2%)	(△ 77.3%)
ADR	△ 2.7%	△ 24.7%	△ 25.8%
(前々年比)	(△ 28.3%)	(△ 5.3%)	(△ 16.3%)
稼働率	+ 16.2pt	+ 16.4pt	+ 15.8pt
(前々年比)	(△ 56.8pt)	(△ 60.7pt)	(△ 57.4pt)
(当期実績値)	(21.8%)	(18.2%)	(21.4%)

### 宿泊予約状況（7月21日時点）

- 7月の全社稼働率は37%程度で推移
- 8月の予約室数は前年同時期と比較し2.3倍程度で推移  
(シティ3倍程度、リゾート2倍程度)  
前年8月の稼働率実績は22.9%

I. エグゼクティブ・サマリー	P3
II. 主な営業状況、取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P12
IV. 決算実績詳細	P22
V. 連結業績予想、足元の動向	P26
<b>VI. 補足資料</b>	<b>P29</b>

# ホテル・レジャー事業 施設概要

## ■ホテル業

	ホテル数 (か所)		客室数 (室)	
	2020/6末	2021/6末	2020/6末	2021/6末
シティ	15	15	10,619	10,618
高輪・品川エリア	4	4	5,138	5,138
リゾート	31	31	6,739	6,740
軽井沢エリア	3	3	687	688

(注) ホテル業に含むホテルは以下の通りです。

### シティ (高輪・品川エリアに含むホテルを下線で表示) :

ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町、ザ・プリンス パークタワー東京、東京プリンスホテル、ザ・プリンス さくらタワー東京、グランドプリンスホテル高輪、グランドプリンスホテル新高輪、品川プリンスホテル、新宿プリンスホテル、サンシャインシティプリンスホテル、川越プリンスホテル、新横浜プリンスホテル、名古屋プリンスホテル スカイタワー、びわ湖大津プリンスホテル、ザ・プリンス 京都宝ヶ池、グランドプリンスホテル広島

### リゾート (軽井沢エリアに含むホテルを下線で表示) :

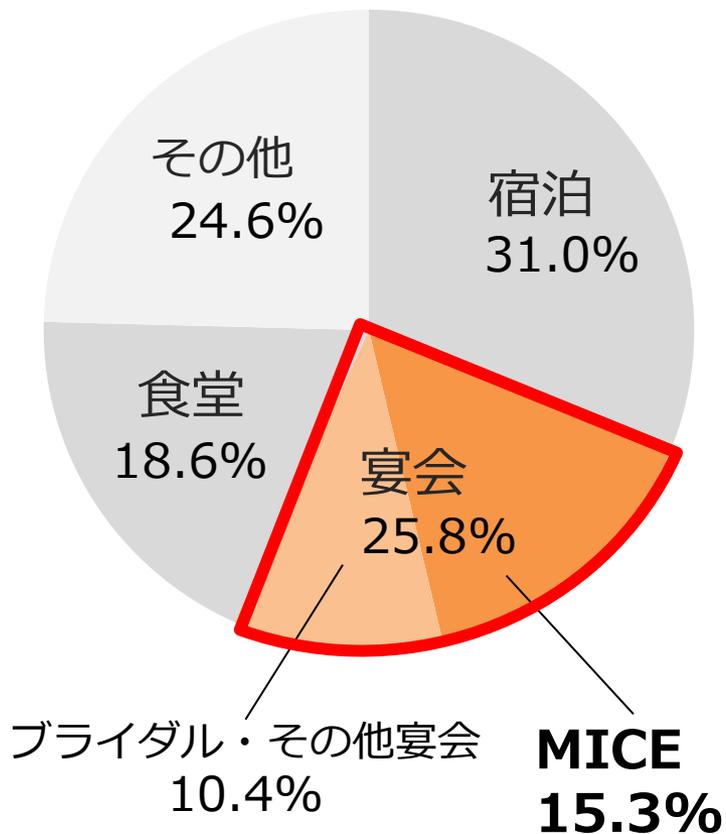
札幌プリンスホテル、屈斜路プリンスホテル、釧路プリンスホテル、富良野プリンスホテル、新富良野プリンスホテル、函館大沼プリンスホテル、十和田プリンスホテル、雫石プリンスホテル、苗場プリンスホテル、ザ・プリンスヴィラ軽井沢、ザ・プリンス 軽井沢、軽井沢プリンスホテル、軽井沢 浅間プリンスホテル、プリンス パケーション クラブ 軽井沢浅間、プリンス パケーション クラブ ヴィラ軽井沢浅間、婦恋プリンスホテル、万座プリンスホテル、万座高原ホテル、志賀高原プリンスホテル、鎌倉プリンスホテル、大磯プリンスホテル、ザ・プリンス箱根芦ノ湖、龍宮殿、箱根湯の花プリンスホテル、箱根仙石原プリンスホテル、箱根園コテージ、下田プリンスホテル、三養荘、プリンス パケーション クラブ 三養荘、川奈ホテル、日南海岸 南郷プリンスホテル

## ■海外ホテル業

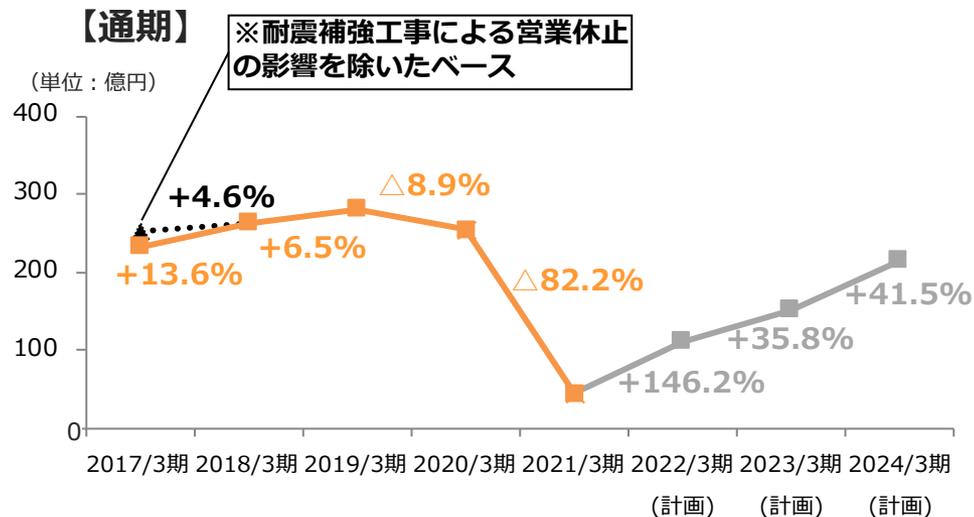
	ホテル数 (か所)		客室数 (室)	
	2020/3末 (うち直営 ・リース)	2021/3末 (うち直営 ・リース)	2020/3末 (うち直営 ・リース)	2021/3末 (うち直営 ・リース)
海外ホテル業	34 (6)	35 (6)	5,452 (1,611)	5,678 (1,611)
ハワイ	3 (3)	3 (3)	1,064 (1,064)	1,064 (1,064)
The Prince Akatoki	1 (1)	1 (1)	82 (82)	82 (82)

# ホテル業 MICEの状況

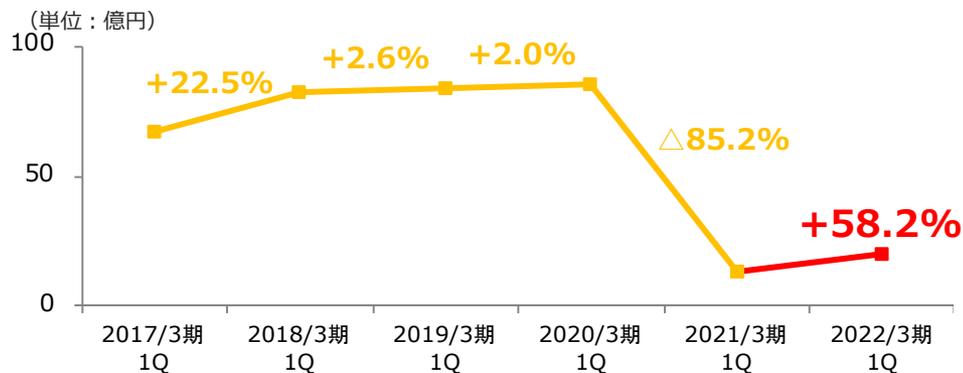
## ■ ホテル業の売上高構成比 (2022年3月期 1Q)



## ■ MICE売上高の推移



## 【第1四半期】



## ディスクレーマー

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び不確実な要因に係る仮定を前提として作成しており、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。